

大阪府衛生管理協同組合 設立50周年記念式典を開催

日時：平成26年5月27日(火) 午後3時

場所：スイスホテル南海大阪 浪華(8階)

大阪府衛生管理協同組合設立50周年記念式典が地元浪速のスイスホテル南海大阪8階浪華で開催された。会場は大阪府、府下43市町村行政関係者、業界団体等来賓60名及び組合員80名の140名の参加で盛大に行われた。

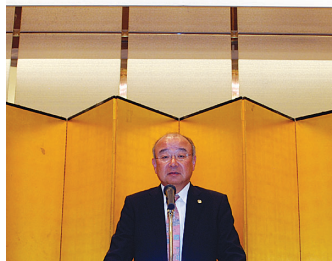


「来賓の皆様方をはじめ、関係ご団体の皆様方には、なにかとお忙しい中、多くの方々にご参集を賜りました事、心から御礼申し上げます。さて関係各位の皆様方のお力添えを持ちまして50周年を迎えさせていただくことになりました。今日は50周年の節目を記念して式典・記念講演会をその後、祝宴を執り行わせていただきます。長時間となりますが最後までお付き合いください。よろしくお願いいたします。」

1、開式にあたりまして、理事長 米田健司より挨拶させていただきます。

「理事長を仰せつかっております米田です。開式にあたり組合を代表してご挨拶申し上げます。」

設立50周年記念 大阪府衛生管理協同組合



今日はご多忙のなか、組合員を始め大勢の皆様にご出席いただき誠にありがとうございます。またご来賓として大阪府、大阪市、堺市、貝塚市、八尾市をはじめ29市町村の皆様のご臨席を得ましたことを心よりお礼申し上げます。

当組合は昭和40年3月18日「中小企業等協同組合法」に基づき大阪府知事の認可を得て、今年で50周年を迎えました。昭和、平成の時代を超えて今日を迎えることが出来たのは、設立当時の百野留蔵理事長をはじめ役員の方々の大変なご苦労が偲ばれます。さらに、一般廃棄物業務をさせていただいております私ども組合を長年にわたりご指導、ご鞭撻を賜っております地元市町村のご来賓の皆様のおかげだと感謝しています。

本日の式典が今後の新たなスタートとなることを期待しています。

最後に皆様のご健勝とご発展を祈念して挨拶いたします。」

2、それではここで、本日お運び頂きました皆様方よりご祝辞を頂戴してまいります。

来賓祝辞が大阪府、大阪市、堺市の順で行われた。

大阪府知事祝辞を健康医療部環境衛生課桐山晴光課長が代読した。



大阪府衛生管理協同組合におかれましては、この度創立五十周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

貴組合におかれましては、昭和40年に設立されて以来半世紀の長きにわたり、組合員の皆様が一致協力し、尿及び浄化槽の清掃業の振興・発展に努められるとともに、日頃の業務を通じて、府域の生活環境の保全と公衆衛生の向上に多に御貢献をいただいております。

災害時における尿及び浄化槽汚泥の収集運搬に関しましては、災害地域市町村に無償で支援・協力を行う救援協定を本府と締結していただくなど、長年、府政各般にわたってご支援を賜っておりますことに、この場をお借りして改めて御礼を申し上げます。

めでたく、この記念すべき年を迎えられましたのも、ひとえに米田理事長はじめ、歴代の理事長、役員並びに組合員の皆様のご熱意とたゆまぬご努力の賜物と、深く敬意を表する次第でございます。

さて、本府では、平成23年3月策定の「大阪二十一世紀の新環境総合計画」に基づき、生活排水の適正処

理100%達成に向け、取り組みを進めております。その中で合併処理浄化槽は、下水道整備が非効率な地域において、生活排水対策の重要な役割を担っております。その浄化槽において、良好な処理水質を確保するためには適正な維持管理が不可欠であり、特に清掃はその「要」でございます。

貴組合におかれましては、清掃技術の向上や知識の普及に取り組みられ、浄化槽における良好な処理水質の確保に大きく寄与されました。今後ともこれらの取り組みを通じて、環境保全に御尽力賜りますようお願い申し上げます。

結びに、創立50周年を一つの節目として、これまでの先達の御功績を基礎に大阪府衛生管理協同組合の今後益々の御発展と会員皆様方の御健勝、御活躍を心から祈念しお祝いの言葉いたします。

平成26年5月27日
大阪府知事 松井 一郎

続いて大阪市長橋下徹様祝辞を環境局事業部山本正広部長が代読した。



催されましたことを心からお喜び申し上げます。

貴組合は昭和40年の発足以来、多年にわたり、浄化槽清掃業務や一般廃棄物収集運搬業務をはじめとした環境衛生業務に取り組みられ、大阪市民の生活環境の改善、衛生維持に大きく貢献しておられます。この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

また、米田理事長をはじめ歴代理事長、関係の皆様方のご熱意とご尽力に深く敬意を表します。

皆様方には、個別的排水処理施設である浄化槽などの適正な清掃及び維持管理に日々ご尽力いただいておりますが、そのための知識と技術を継承するとともに新しい時代のニーズに対応した高度な技術と良質なサービスの提供を通じて、今後とも公衆衛生の推進と豊かで潤いのある市民生活の実現に貢献いただきますようお願い申し上げます。

大阪市では大阪の行政を根本から見直し、長期にわたって大阪が本当の再生を果たすための様々な取り組みを進めております。あらゆることをゼロから見直し、大阪の行政を仕組みからつくり変え、必ず大阪の明日を切り拓いてまいりますので皆様方のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

本日ご参加の皆様方が交流の輪を一層広げられますよう、また大阪府衛生管理協同組合のますますのご発展

展、皆様方のご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げます。お祝いのメッセージといたします。

平成26年5月27日
大阪市長 橋下 徹

最後に堺市長竹山修身様の祝辞を環境局津田隆年局長が代読された。

本日ここに、大阪府衛生管理協同組合が設立50周年を迎えられ、記念式典が盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

貴組合におかれましては、昭和40年の設立以来、浄化槽に関する専門知識・技術の向上及び浄化槽の適正な維持管理の推進に努められ、大阪府並びに私ども堺市の公衆衛生の向上と生活環境の保全に格別のご尽力を賜っておりますことに、心から敬意を表しますとともに深く感謝申し上げます。

また、米田理事長におかれましては、長年本市の環境行政にご理解とご協力をいただき、この場をお借りして、厚くお礼申し上げます。

さて、大阪における生活排水対策の状況でございますが、全国の都道府県の中でもトップレベルの水洗化



率を達成しております。

しかし、人口減少という社会情勢の変化や東日本大震災を踏まえ安全・安心な生活排水の適正処理を目指していくためには経済や地域特性を踏まえた柔軟な処理方法や設備の選択が必要となっており下水道と同等の処理能力を有し効率的に整備できる浄化槽も、生活排水対策の重要な柱の一つであると認識しております。府民すべてが健康で快適な生活環境を実現し、清らかな水環境を次世代に引き継いでいくため、今後とも、貴組合の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、大阪府衛生管理協同組合の益々のご発展と、本日ご臨席の皆様方のご健勝を祈念申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。

平成26年5月27日

堺市長
竹山 修身

3、来賓代表のご祝辞が終わり、続いて司会者から全来賓の「お名前の読み上げ」と席上紹介があり、ご来賓の皆様のご紹介を行わせていただきました。「お忙しい中のご臨席、誠にありがとうございます。」との感謝の言葉で締めくくった。

4、また祝電（メッセージ18、祝電8）披露が行われ大きな拍手があった。

5、次に感謝状の拝受が行われた。感謝状は大阪府から、組合と米田理事長に贈呈された。



6、続いて表彰状の拝受が行われた。表彰状は大阪府中小企業団体中央会より贈呈されたものです。岸田正義、齋藤純代、辻貴之の3理事が組合経営功労者として表彰された。



7、漸次休憩の後、公益財団法人日本環境整備教育センター理事国安克彦先生の記念講演が1時間余り行われた。

プロフィール：国安先生は1978年東京理科大学大学院修士課程を卒業後、財団法人日本環境整備センターに勤務されました。以後企画情報、調査・研究グループリーダーとして長年ご活躍されました。その間、国土交通省、文部科学省の各委員を歴任され、本日お越しの皆様方には中央環境審議会、廃棄物リサイクル部会、浄化槽専門委員としてよくご存知のことと存じます。

講演内容「大阪府下の生活排水処理の今後」

大阪府の生活排水処理を含めたインフラ整備の現状とあり方について、厚生労働省「人口動態統計」、国立社会保障人口問題研究所の「日本の将来推計人口」、「日本の地域別将来推計人口」をはじめとする三百ページ余の最新データが詰められた労作資料を作成されました。



その資料に基づき、2040年の市町村別人口推計を踏まえて、急激な人口減少、少子高齢化が進むなか、下水道等のインフラ整備がどうあるべきか、また私たちがどう考えて行けばよいのかを概説された。

主な内容のポイント

- ・大阪府下においては、ほとんどの市町村人口は急激に減少する。（2010年に対して2040年は15・9%減）
- ・高齢化が進行し、65歳以上人口は2040年には36%となる。
- ・人口減少社会の公共事業は思い切った発想の転換が必要であり、既存事業廃止等を実施。
- ・すでに地方の県庁所在都市では役15%の空き家がある。
- ・今後、公共下水道エリア内の人口を維持し、各種サービスが自立できる方策が必要。

・平成24年度末生活排水処理施設整備状況を汚水処理人口普及率で見ると大阪府は96・4%と高いが、2040年推計人口で比べると114・7である。100%を超えるということは、

年を追うごとに整備済みの生活排水処理施設の投資効率が低くなり、受益者負担が増加し、これ以上新たに整備すれば市町村財政を破綻させる可能性がある。

・大阪府下の人口集中地区人口（DID人口）を2005年（平成17年）と2010年（平成22年）を比較してみると、半数以上の市町村でDID人口が減少している。

・また、過半数の市町村で2010年の国勢調査のDID人口は2012年集合処理人口より小さい。



・2003年（平成15年度）から2011年（平成23年度）における住民基本台帳人口は24市町村で減少している。

・2003年（平成15年度）から2011年（平成23年度）における下水処理人口は6市町村の減少で止まるが、浄化槽処理人口は26市町村で減少しており、すでに汚水処理が整備されて浄化槽から下水道への移行している部分が大きく二重投資が行われているとも言える。

・直近（2008年〜2011年）の公共下水道事業処理区域人口では、12市町村で減少し、減少傾向が顕著となっている。

・上・下水道の更新需要が拡大してきており、人口減少と既存インフラの補修を考えるとインフラを今のまま維持しようとする、やがて決定的な危機が訪れる。

・地方公共団体では、地方債の削減に努めてきているが、すでに人口減少率が地方債の削減率を上回り、努力をしても一人当たりの借金が増加しているところが出てきている。

・このような状況を考えてすでに下水道が完了している地域においても、将来的に個別処理の浄化槽への転換が必要などとも出てくると考えられる。その受け皿となるためには、浄化槽の各団体が一団となり、信頼される体制、窓口の一本化が必要である。

講演後、若干の質疑の後終了した。

8、ここで式典・記念講演会の結びとして、閉式の言葉を副理事長榎木隆弘より述べた。



「副理事長の榎木でございます。閉会に際し、一言ご挨拶申し上げます。本日設立50周年記念式典を開催いたしましたところ、多

くのご来賓、関係団体の皆様にご臨席賜り心より厚く御礼申し上げます。またご講演の国安先生はじめ丁寧なご祝辞を賜りました皆様にあらためて感謝申し上げます。

私ども組合は50年の節目を迎えました。この間先輩諸兄が培われた歴史と伝統は我々世代には大変貴重な財産でございます。また、今後の50年を見据えた取り組みを一つ一つ確実に実行していけますよう、各行政機関・関係団体の皆様とともに歩んでまいりたいと心を新たに致しました。

来賓の皆様には一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

「お願い申し上げます。」の挨拶をいたします。

司会者：それでは、只今のご挨拶をもちまして式典並びに記念講演会を滞りなく閉式とさせていただきます。誠にありがとうございます。

祝宴次第

1、祝

八尾市長
田中誠太郎 様

2、謝

理事長 米田 健司

3、乾

（株）大阪府環境水質
指導協会会長
辻 精一郎 様



4、閉会のことば

副理事長 片山 敏



和やかな雰囲気の中、会場は大いに盛り上がり歓談の時間がなされた。
（写真をくらんでください。）



組合設立の経緯並びに総会の日程・場所・理事等の氏名

(1) 大阪府衛生管理協同組合設立の経過

昭和39年11月1日百野留蔵、山盛孝一、榎木米治郎3氏等11名の発起人により、定款作成を終わりました。事業協同組合創立準備が完了したので大阪府衛生管理協同組合創立総会を開催する旨の通知がなされた。創立総会公告書によると開催日時：昭和39年11月17日(火)午後2時から、開催場所：大阪市南区河原町1丁目1531 新橋荘で行われた。

協同組合設立趣意は「組合形態を任意組合より中小企業協同組合法による事業協同組合に発展移行し、かつ我々業者相互の福利を一層増進し、監督官庁の方針に積極的に協力することが現在の情勢に対応する最良の方法である」と信じ、発起した次第であり全員の賛同を得た」とのことであった。

設立同意者は57名であり、総額67万円の出資を得たる後大阪府知事に設立認可申請、40年3月18日認可があり40年3月30日設立登記を完了し正式に発足した。

第一期の昭和39年度は40年3月30日から40年3月31日の期間でわずかに2日間すぎず事業活動はすべて次期年度より開始となった。

(2) 年次順通常総会日程、場所、理事等・副理事長(ゴシック体)

S 39・11・17 創立総会
新橋荘(大阪市南区)

(設立発起人)

百野 留蔵 山盛 孝一
榎木米治郎 中 重太郎

千藤 五作 坂本 武三
佐々木莊太郎 柿本 三郎

中野 武男 藤本彦太郎
中野 優 家村 公二

役員選挙 昭和39年度

百野 留蔵(理事長)
山盛 孝一(副理事長2名)

榎木米治郎(副理事長2名)

中 重太郎 千藤 五作
坂本 武三 佐々木莊太郎

中野 武男 中野 優
柿本 三郎 藤本彦太郎

子安 正義 家村 公二

第一期

第二期

第三期

第四期



初代理事長
百野 留蔵 氏

S 40・5・25 昭和40年度
新橋荘(大阪市南区)

【改選】

百野 留蔵(理事長)
山盛 孝一 榎木米治郎

中 重太郎 千藤 五作
坂本 武三 佐々木莊太郎

中野 武男 中野 優
柿本 三郎 藤本彦太郎

肥下 弘 子安 正義
家村 公二

第五期

S 44・5・27 昭和44年度
天山閣(大阪市天王寺区)

【改選】

百野 留蔵(理事長)
榎木米治郎 石川福三郎

柿本 三郎 宮本 好吉
魚田 八郎 宵 治

三ッ川 勇 奥野 昭夫
山盛 啓有 鍛冶本清三郎

新居 由幸 野中嘉太郎
佐竹 清 齋藤 実

第六期

S 45・5・28 昭和45年度
新橋荘(大阪市千日前大劇東)

【改選】

百野 留蔵(理事長)
榎木米治郎 石川福三郎

柿本 三郎 魚田 八郎
新居 由幸 三ッ川 勇

山盛 啓有 宮本 好吉
野中嘉太郎 奥野 昭夫

市森 照男 佐竹 清司
齋藤 実(45・4・25)

理事・監事の變更(増員等)

柿本 三郎 魚田 八郎
山盛 啓有 宮本 好吉

三ッ川 勇 鍛冶本清三郎
奥野 昭夫 市森 照男

永田 昌広 前田伊之助
齋藤 実 西川 金蔵

第七期

S 46・5・29 昭和46年度
浪速区産業会館(大阪市)

【改選】

石川福三郎(理事長)
榎木米治郎 野中嘉太郎

柿本 三郎 山盛 啓有
三ッ川 勇 鍛冶本清三郎

奥野 昭夫 永田 昌広
百野 辰雄 中名主勝久

浪速区河原町2丁目

ナンパビル

第八期

S 47・5・29 昭和47年度
新東洋(高石市羽衣)

石川福三郎(理事長)

第九期

S 48・5・25 昭和48年度
浪速区産業会館(大阪市浪速区)

【改選】

榎木米治郎(理事長)
石川福三郎 野中嘉太郎

柿本 三郎 山盛 啓有
三ッ川 勇 鍛冶本清三郎

奥野 昭夫 永田 昌広
百野 辰雄 中名主勝久

第十期

S 49・5・24 昭和49年度
ホテル浦島(和歌山県)

榎木米治郎 野中嘉太郎
柿本 三郎 山盛 啓有
三ッ川 勇 鍛冶本清三郎

奥野 昭夫 永田 昌広
百野 辰雄 中名主勝久

第十一期

S 50・6・25 昭和50年度
ビジネスセンター三水

【改選】

榎木米治郎(理事長)
石川福三郎 野中嘉太郎

柿本 三郎 山盛 啓有
三ッ川 勇 鍛冶本清三郎

奥野 昭夫 永田 昌広
百野 辰雄 中名主勝久

第十二期

S 51・5・26 昭和51年度
ホテルながやま

榎木米治郎(理事長)

第十三期

S 52・5・16 昭和52年度
ビジネスセンター三水

【改選】

榎木米治郎(理事長)
榎木米治郎 三ッ川 勇

柿本 三郎 山盛 啓有
三ッ川 勇 鍛冶本清三郎

奥野 昭夫 永田 昌広
百野 辰雄 中名主勝久

第十四期

S 53・5・28 昭和53年度
よろづや

【改選】

榎木米治郎(理事長)
榎木米治郎 三ッ川 勇

柿本 三郎 山盛 啓有
三ッ川 勇 鍛冶本清三郎

奥野 昭夫 永田 昌広
百野 辰雄 中名主勝久

第十五期

S 54・5・22 昭和54年度
ビジネスセンター三水

【改選】

榎木米治郎(理事長)
榎木米治郎 三ッ川 勇

柿本 三郎 山盛 啓有
三ッ川 勇 鍛冶本清三郎

奥野 昭夫 永田 昌広
百野 辰雄 中名主勝久

第十六期

S 55・5・18 昭和55年度
万翠楼(山陰三朝温泉)

【改選】

榎木米治郎(理事長)
榎木米治郎 三ッ川 勇

柿本 三郎 山盛 啓有
三ッ川 勇 鍛冶本清三郎

奥野 昭夫 永田 昌広
百野 辰雄 中名主勝久

第十七期

S 56・5・23 昭和56年度
ビジネスセンター三水

【改選】

榎木米治郎(理事長)
榎木米治郎 三ッ川 勇

柿本 三郎 山盛 啓有
三ッ川 勇 鍛冶本清三郎

奥野 昭夫 永田 昌広
百野 辰雄 中名主勝久

第十八期

新居 由幸 池田 静治
川口廣次郎 藤野 義明
松藤 一巳 江口 進

奥野 洋子 宮本 好吉
植田 一穂 宮本 好吉

第十九期

S 57・5・23 昭和57年度
ロイヤルホテル

【改選】

榎木米治郎(理事長)
榎木米治郎 三ッ川 勇

柿本 三郎 山盛 啓有
三ッ川 勇 鍛冶本清三郎

奥野 昭夫 永田 昌広
百野 辰雄 中名主勝久

第二十期

S 58・5・18 昭和58年度
ビジネスセンター三水

【改選】

榎木米治郎(理事長)
榎木米治郎 三ッ川 勇

柿本 三郎 山盛 啓有
三ッ川 勇 鍛冶本清三郎

奥野 昭夫 永田 昌広
百野 辰雄 中名主勝久

第二十一期

S 59・5・21 昭和59年度
ホテル川久

【改選】

榎木米治郎(理事長)
榎木米治郎 三ッ川 勇

柿本 三郎 山盛 啓有
三ッ川 勇 鍛冶本清三郎

奥野 昭夫 永田 昌広
百野 辰雄 中名主勝久

第二十二期

S 60・5・13 昭和60年度
ホテル紫光

【改選】

榎木米治郎(理事長)
榎木米治郎 三ッ川 勇

柿本 三郎 山盛 啓有
三ッ川 勇 鍛冶本清三郎

奥野 昭夫 永田 昌広
百野 辰雄 中名主勝久

第二十三期

S 61・5・22 昭和61年度
琴平グランドホテル

【改選】

榎木米治郎(理事長)
榎木米治郎 三ッ川 勇

柿本 三郎 山盛 啓有
三ッ川 勇 鍛冶本清三郎

奥野 昭夫 永田 昌広
百野 辰雄 中名主勝久

第二十四期

S 62・5・19 昭和62年度
東光園

【改選】

榎木米治郎(理事長)
榎木米治郎 三ッ川 勇

柿本 三郎 山盛 啓有
三ッ川 勇 鍛冶本清三郎

奥野 昭夫 永田 昌広
百野 辰雄 中名主勝久

第二十五期

S 63・5・19 昭和63年度
(鳥取県米子市皆生温泉)

【改選】

榎木米治郎(理事長)
榎木米治郎 三ッ川 勇

新居 由幸 池田 静治
川口廣次郎 藤野 義明
松藤 一巳 江口 進

奥野 洋子 宮本 好吉
植田 一穂 宮本 好吉

第二十六期

S 64・5・22 昭和64年度
ビジネスセンター三水

【改選】

榎木米治郎(理事長)
榎木米治郎 三ッ川 勇

柿本 三郎 山盛 啓有
三ッ川 勇 鍛冶本清三郎

奥野 昭夫 永田 昌広
百野 辰雄 中名主勝久

第二十七期

S 65・5・23 昭和65年度
ビジネスセンター三水

【改選】

榎木米治郎(理事長)
榎木米治郎 三ッ川 勇

柿本 三郎 山盛 啓有
三ッ川 勇 鍛冶本清三郎

奥野 昭夫 永田 昌広
百野 辰雄 中名主勝久

第二十八期

S 66・5・23 昭和66年度
ロイヤルホテル

【改選】

榎木米治郎(理事長)
榎木米治郎 三ッ川 勇

柿本 三郎 山盛 啓有
三ッ川 勇 鍛冶本清三郎

奥野 昭夫 永田 昌広
百野 辰雄 中名主勝久

第二十九期

S 67・5・23 昭和67年度
ロイヤルホテル

【改選】

榎木米治郎(理事長)
榎木米治郎 三ッ川 勇

柿本 三郎 山盛 啓有
三ッ川 勇 鍛冶本清三郎

奥野 昭夫 永田 昌広
百野 辰雄 中名主勝久

第三十期

S 68・5・18 昭和68年度
ビジネスセンター三水

【改選】

榎木米治郎(理事長)
榎木米治郎 三ッ川 勇

柿本 三郎 山盛 啓有
三ッ川 勇 鍛冶本清三郎

奥野 昭夫 永田 昌広
百野 辰雄 中名主勝久

第三十一期

S 69・5・21 昭和69年度
ホテル川久

【改選】

榎木米治郎(理事長)
榎木米治郎 三ッ川 勇

柿本 三郎 山盛 啓有
三ッ川 勇 鍛冶本清三郎

奥野 昭夫 永田 昌広
百野 辰雄 中名主勝久

第三十二期

S 70・5・13 昭和70年度
ホテル紫光

【改選】

榎木米治郎(理事長)
榎木米治郎 三ッ川 勇

新居 由幸 池田 静治
川口廣次郎 藤野 義明
松藤 一巳 江口 進

奥野 洋子 宮本 好吉
植田 一穂 宮本 好吉

第三十三期

S 71・5・22 昭和71年度
琴平グランドホテル

【改選】

榎木米治郎(理事長)
榎木米治郎 三ッ川 勇

柿本 三郎 山盛 啓有
三ッ川 勇 鍛冶本清三郎

奥野 昭夫 永田 昌広
百野 辰雄 中名主勝久

第三十四期

S 72・5・19 昭和72年度
東光園

【改選】

榎木米治郎(理事長)
榎木米治郎 三ッ川 勇

柿本 三郎 山盛 啓有
三ッ川 勇 鍛冶本清三郎

奥野 昭夫 永田 昌広
百野 辰雄 中名主勝久

第三十五期

S 73・5・19 昭和73年度
(鳥取県米子市皆生温泉)

【改選】

榎木米治郎(理事長)
榎木米治郎 三ッ川 勇

柿本 三郎 山盛 啓有
三ッ川 勇 鍛冶本清三郎

奥野 昭夫 永田 昌広
百野 辰雄 中名主勝久

第三十六期

S 74・5・19 昭和74年度
(鳥取県米子市皆生温泉)

【改選】

榎木米治郎(理事長)
榎木米治郎 三ッ川 勇

柿本 三郎 山盛 啓有
三ッ川 勇 鍛冶本清三郎

奥野 昭夫 永田 昌広
百野 辰雄 中名主勝久

第三十七期

S 75・5・19 昭和75年度
(鳥取県米子市皆生温泉)

【改選】

榎木米治郎(理事長)
榎木米治郎 三ッ川 勇

柿本 三郎 山盛 啓有
三ッ川 勇 鍛冶本清三郎

奥野 昭夫 永田 昌広
百野 辰雄 中名主勝久

第三十八期

S 76・5・19 昭和76年度
(鳥取県米子市皆生温泉)

【改選】

榎木米治郎(理事長)
榎木米治郎 三ッ川 勇

柿本 三郎 山盛 啓有
三ッ川 勇 鍛冶本清三郎

奥野 昭夫 永田 昌広
百野 辰雄 中名主勝久

第三十九期

S 77・5・19 昭和77年度
(鳥取県米子市皆生温泉)

【改選】

榎木米治郎(理事長)
榎木米治郎 三ッ川 勇

新居 由幸 池田 静治
川口廣次郎 藤野 義明
松藤 一巳 江口 進

奥野 洋子 宮本 好吉
植田 一穂 宮本 好吉

第四十期

S 78・5・21 昭和78年度
(和歌山県牟婁郡白浜町)

【改選】

榎木米治郎(理事長)
榎木米治郎 三ッ川 勇

柿本 三郎 山盛 啓有
三ッ川 勇 鍛冶本清三郎

奥野 昭夫 永田 昌広
百野 辰雄 中名主勝久

第四十一期

S 79・5・13 昭和79年度
(三重県志摩郡浜島町)

家村 治 植田 一穂 野中嘉太郎	第二十四期 S 63・5・18 昭和63年度 ホテル水明館 (岐阜県益田町下呂町)	第二十五期 H 1・5・17 平成元年度 齊木別館 (鳥取県東伯郡三朝温泉)	【改選】 百野 辰雄 (理事長) 藤野 静男 辻 義明 川口廣次郎 宮本 好吉 高野 年秋 三ッ川 勇 西尾 猛 家村 治 野中嘉太郎 脇田 民子 米田 誠司 榎本 正蔵 仲村 文博 永田伊智朗 山口 辰男 宵 治	第二十六期 H 2・5・23 平成2年度 浜の湯 (長野県諏訪市 信州上諏訪温泉)	第二十七期 前年度に同じ H 3・5・15 平成3年度 ホテル望湖楼 (鳥取県 東伯郡羽合町羽合温泉)	【改選】 藤野 静男 (理事長) 川口廣次郎 米田 誠司 白石 正道 三ッ川 勇 宮本 好吉 家村 治 植田 一穂 野中 重信 出口 秋男 山本 譲二 永田伊智朗 奥野 武文 辻 義明 榎本 直子 宵 治 山口 辰男
------------------------	---	--	---	---	--	--



第六代理事長
藤野 静男 氏

佳翠苑 (島根県八束郡 玉湯町玉造)	【改選】 藤野 静男 (理事長) 川口廣次郎 米田 誠司 白石 正道 三ッ川 勇 仲村 公一 家村 治 森本 一雄 野中 重信 出口 秋男 山本 謙二 永田伊智朗 西尾 猛 辻 義明 土井 満幸 宵 治 山口 辰男	第三十期 H 6・5・13 平成6年度 大阪コクサイホテル (大阪府中央区)	前年度に同じ H 6・5・13 設立30周年記念式典 大阪コクサイホテル	第三十一期 H 7・5・17 平成7年度 下呂温泉 水明館 (岐阜県益田町下呂町)	【改選】 藤野 静男 (理事長) 川口廣次郎 米田 誠司 白石 正道 三ッ川 勇 仲村 公一 野中 重信 柿花 江美 南 和天 滝北 健治 辻 義明 出口 秋男 田中 武雄 永田伊智朗 西尾 猛 宵 治 山口 辰男	第三十二期 H 8・5・16 平成8年度 朝野家 (兵庫県美方郡湯村温泉)	前年度に同じ H 9・5・20 平成9年度 兵衛向陽閣 (神戸市北区有馬町1904)	【改選】 藤野 静男 (理事長) 川口廣次郎 米田 誠司 白石 正道 仲村 公一 辻 義明 三ッ川 勇 田中 武雄 野中 重信 永田伊智朗 滝北 健治 南 和天 蓬萊会美代治 川口 安幸 谷口 月義 宵 治 山口 辰男	第三十四期 H 10・5・19 平成10年度
-----------------------	---	--	---	---	---	---	--	---	------------------------------

鳥羽シーサイドホテル (三重県鳥羽市)	第三十五期 H 11・5・26 平成11年度 三朝温泉 万翠楼 (鳥取県東伯郡三朝町)	【改選】 藤野 静男 (理事長) 川口廣次郎 米田 誠司 白石 正道 仲村 公一 辻 義明 田中 武雄 三ッ川 勇 野中 重信 滝北 健治 永田伊智朗 植田 博 蓬萊会美代治 出口 真吉 川口 安幸 宵 治 山口 辰男	第三十六期 H 12・5・17 平成12年度 ホテル三翠園 (高知県鷹匠町)	前年度に同じ H 13・5・29 平成13年度 ホテルまつや千千 (福井県坂井郡芦原温泉)	【改選】 藤野 静男 (理事長) 川口廣次郎 米田 誠司 白石 正道 仲村 公一 辻 義明 青山 治 野中 重信 滝北 健治 永田伊智朗 道慶 君子 吉田 晃 江口 修 出口 秋男 三ッ川浩一 宵 治 山口 辰男	第三十八期 H 14・5・14 平成14年度 道後館 (愛媛県松山市道後温泉)	前年度に同じ H 15・5・26 平成15年度 ホテル花水木 (三重県桑名郡長島温泉)	【改選】 藤野 静男 (理事長) 川口廣次郎 米田 誠司 白石 正道 辻 義明 三ッ川浩一 野中 重信 永田伊智朗 滝北 健治 青山 治 岩本 間 吉田 晃 出口 秋男 江口 修 岸田 正義 宵 治 山口 辰男	第四十期 H 16・5・18 平成16年度 湯元ホテル阿智川 (長野県下伊那郡昼神温泉郷)	前年度に同じ H 17・5・17 平成17年度 ホテル金波楼 (兵庫県豊岡市瀬戸1090)	【改選】 藤野 静男 (理事長) 川口廣次郎 野中 重信 米田 健司 三ッ川浩一 永田伊智朗 滝北 健治 青山 治 角井 勇基 岸田 正義 榎本 勉 川口 徹 榎本 政浩 辻 貴之 宵 治 外村 文昭	第四十二期 H 18・5・15 平成18年度 銘石の宿 かげつ (山梨県笛吹市石和町川中島)	前年度に同じ H 19・5・29 平成19年度 華水亭 (鳥取県米子市皆生温泉)	【改選】 藤野 静男 (理事長) 川口廣次郎 米田 健司 白石 正道 永田伊智朗 三ッ川浩一 滝北 健治 榎本 勉 岸田 正義 榎本 貴之 畑中 純代 森 茂治 齋藤 純治 植田 博 野中 久泰 宵 治 岩井 裕樹 外村 文昭	第四十四期 H 20・5・20 平成20年度 加賀屋 (石川県七尾市和倉温泉)	前年度に同じ H 21・5・22 平成21年度 ゆめのくに天祥 (石川県加賀市山代温泉)	【改選】 藤野 静男 (理事長) 川口廣次郎 米田 健司 白石 正道 三ッ川浩一 永田伊智朗 榎本 隆弘 滝北 健治 三ッ川浩一 岸田 正義 榎本 貴之 畑中 政浩 辻 貴之 齋藤 純代 森 広治 野中 久泰 植田 勝 賀好 亮介	第四十六期 H 22・5・19 平成22年度 佐勘 (宮城県仙台市 太白区秋保町湯元)	前年度に同じ H 23・5・17 平成23年度 水明館 (岐阜県下呂市下呂温泉)	【改選】 藤野 静男 (理事長) 川口廣次郎 米田 健司 永田伊智朗 三ッ川浩一 岸田 正義 榎本 隆弘 畑中 政浩 榎本 貴之 齋藤 純代 森 広治 野中 久泰 南 和天 松藤 次郎 外村 文昭	第四十八期 H 24・5・16 平成24年度 佳翠園 皆美 (島根県 松江市玉湯町玉造)	前年度に同じ H 25・5・16 平成25年度 ホテル九重 (静岡県浜松市館山寺温泉)	【改選】 米田 健司 (理事長) 榎本 隆弘 野中 久泰 片山 敏 岸田 正義 三ッ川浩一 榎本 純代 森 広治 齋藤 貴之 永田伊智朗 松藤 次郎 吉田 晃 松井 健 浅田 一宏 土井 義広 外村 文昭	第五十期 H 26・5・27 平成26年度 (スィスホテル南海大阪)	前年度に同じ H 26・5・27 創立50周年記念式典 《追記》 1、名簿は各年度通常総会議事録 および組合ニュース等による。 2、また、() は各年度 総会議案書より採用 3、名簿順位は上記名簿を採用
------------------------	---	---	---	---	--	---	---	---	---	---	--	--	--	--	---	--	--	---	--	--	--	---	---	---	--



第七代理事長
米田 健司 氏

外村 文昭	第四十六期 H 22・5・19 平成22年度 佐勘 (宮城県仙台市 太白区秋保町湯元)	前年度に同じ H 23・5・17 平成23年度 水明館 (岐阜県下呂市下呂温泉)	【改選】 藤野 静男 (理事長) 川口廣次郎 米田 健司 永田伊智朗 三ッ川浩一 岸田 正義 榎本 隆弘 畑中 政浩 榎本 貴之 齋藤 純代 森 広治 野中 久泰 南 和天 松藤 次郎 外村 文昭	第四十八期 H 24・5・16 平成24年度 佳翠園 皆美 (島根県 松江市玉湯町玉造)	前年度に同じ H 25・5・16 平成25年度 ホテル九重 (静岡県浜松市館山寺温泉)	【改選】 米田 健司 (理事長) 榎本 隆弘 野中 久泰 片山 敏 岸田 正義 三ッ川浩一 榎本 純代 森 広治 齋藤 貴之 永田伊智朗 松藤 次郎 吉田 晃 松井 健 浅田 一宏 土井 義広 外村 文昭	第五十期 H 26・5・27 平成26年度 (スィスホテル南海大阪)	前年度に同じ H 26・5・27 創立50周年記念式典 《追記》 1、名簿は各年度通常総会議事録 および組合ニュース等による。 2、また、() は各年度 総会議案書より採用 3、名簿順位は上記名簿を採用
-------	---	--	--	--	---	---	---	--

平成26年度(第50期)通常総会開催



次の書類を提出して承認を求めた。

- ①収支決算書、②財産目録、③貸借対照表、④損益計算書、⑤余剰金処分

次いで監事外村文昭、道野義広両名は平成26年4月25日に組合事務局にて綿密な調査を実施した旨を報告し、満場異議なくこれを承認した。

第3号議案 平成26年度事業計画案承認に関する件

議長は事務局に説明させ、議場に諮り可否を問い満場一致で承認した。

第4号議案 平成26年度収支予算案承認に関する件

議長は脇田顧問税理士に上記を説明させ、議場に諮り承認を得た。

組合設立50周年記念式典に先立ち、平成26年5月27日(火)午後1時30分スィスホテル南海大阪8階浪華にて開催された。定刻に至り司会者の事務局より開会を宣し、本日の出席状況を報告(出席40、委任状31)、総会成立を告げた。

昨年就任した米田理事長のフレッシュな力強い開会挨拶ではじまった。

また議長選出について議場に諮ったところ榎本隆弘副理事長が選任された。次いで榎本隆弘は議長席につきただちに議案審議にはいった。

第1号議案 平成25年度事業報告書承認に関する件

議長は事務局に25年度事業報告をさせ、その可否を議場に諮ったところ、満場一致で承認可決した。

第2号議案 平成25年度収支決算書、財産目録、貸借対照表、損益計算書並びに余剰金処分案承認に関する件

議長は組合顧問脇田隆博税理士事務所に平成25年4月1日から26年3月31日における財務状況を詳細に報告させ、



次第では組合運営に長年携わり、組合を今日の隆盛に導いた功績に対し、藤野静男、川口廣次郎両名に感謝状と記念品の贈呈が米田理事長からあり、両名の長年の労苦に感謝と敬意を表しました。なお、川口氏は体調不良のため欠席でした。

閉会にあたり片山敏副理事長の「閉会のあいさつ」があり、無事つつがなく終了した。

大阪府衛生管理協同組合50年のあゆみと世の中の動向

年 次	組 合 の う ご き	世 間 の で き ご と	年 次	組 合 の う ご き	世 間 の で き ご と
昭和39年	11・17 設立総会開催（新橋荘：大阪 市南区）57名出席 役員選挙実施：役員13名選出	10・10 東京オリンピック開会	平成 4 年	9・1 合特法に関して浄化槽清掃業 の補償について言及（藤野）	小型合併処理浄化槽普及のため府補 助事業始まる
昭和40年	5・26 第 1 期通常総会開催49名出席 （組合員57名）役員改選実施	7・1 名神高速道路全線（小牧－西 宮間）開通	平成 5 年	(株)大阪府環境水質指導協会に改名 理事会に 4 理事派遣	6・9 皇太子徳仁親王ご成婚
昭和41年	7～9 清掃施設技術管理者資格認定 講習会の受講準備	3・31 日本の総人口1億人突破	平成 6 年	全国環境整備事業協同組合連合会に 加入、10・6～7 第20回全国大会 （京都市都ホテル）に出席 5・13「設立30周年記念式・祝典」 大阪コクサイホテルで開催	9・4 関西国際空港開港
昭和42年	4・3～19 浄化槽管理技術者資格認 定講習会開催	8・3 公害対策基本法公布	平成 7 年	8・15「府生活排水処理計画」につ いて組合ニュース紙面で議論	1・17「兵庫県南部地震（阪神・淡 路大震災）」が発生府 4 保健 所に「生活衛生室」設置
昭和43年	7・ (株)日本環境整備教育センター 第 3 回管理士資格認定講習 12名全員合格 10・28 臨時総会開催（府下 7 ブロッ クの設置決定）	1・7 郵便番号制度実施 3・31「大阪府し尿浄化槽清掃営業 取締条例」廃止、市町村許可 に移行	平成 8 年	5・15「小型合併処理浄化槽清掃技 術講習会」が大阪府主催で開 催される（190名出席）	7・13 堺市で腸管出血性大腸菌 O157による集団食中毒が発 生
昭和44年	12・11～12 (財)日環教センター支援に より44年度清掃施設技術管理 者（2 級）研修会開催53名受 講	3・21 西名阪自動車道全線開通	平成 9 年	4・10 兵庫県川西市協議 当組合・環整連（220人とパ キューム車135台参加）	10・ 大阪府浄化槽指導要綱改正 新規の単独浄化槽認めず
昭和45年	3・15 万博会場清掃施設の現地説明 会 15名参加 11・25 百野留蔵氏厚生大臣（環境衛 生関係功労者）賞を受く	3・14 日本万国博覧会（大阪万博） 開幕 12・25 浄化槽清掃業が法律に基づき 創設される。	平成10年	6・17、7・15 合特法について審議	4・5 明石海峡大橋開通
昭和46年	2・16 百野留蔵氏逝去 9・4 産業廃棄物事業運営問題の理 事会審議	9・24 廃棄物の処理及び清掃に関す る法律施行	平成11年	10・19 環整連第25回全国大会三重県 四日市で開催（合特法事業推 進を決議18名参加）	5・1 広島県尾道市から愛媛県今治 市を結ぶ瀬戸内しまなみ海道 が開通
昭和47年	10・18 東大阪市、堺市等浄化槽許可 について理事会審議	2・19 連合赤軍によるあさま山荘事 件	平成12年	5・17 第36期総会で「合特法問題の 府下状況について」藤野理事 長の緊急演説（高知市三翠園）	7・21 九州・沖縄で第26回主要国首 脳会議（九州・沖縄サミット） 開催
昭和48年	府浄化槽清掃営業取締条例廃止に伴 う営業補償を10回理事会審議	2・14 為替レート固定相場制から変 動相場制に移行	平成13年	5・29 第37期総会（ホテルまつや千 千福井県芦原温泉）にて「新 ビジネスにディスポーザーを」 の藤野理事長挨拶	9・11 アメリカ同時多発テロ事件
昭和49年	5・24 第10期通常総会をホテル浦島 （和歌山県）で開催 11・15 臨時総会開催 事務所移転： 浪速区西岡谷町、⇒現住所	6・26 国土庁設置 10・18 (株)大阪府浄化槽協会設立	平成14年	1・7 石川福三郎氏逝去 6・19 特定地域生活排水処理事業に 伴う浄化槽管理士調査実施 7・14 調査結果 54社回答有資格者 159名（46社未提出）⇒講習 会予定12・2～14	10・15 北朝鮮に拉致された日本人 5 人が帰国
昭和50年	7・2 定例理事会は毎月第 3 水曜 日に決定 7・23 合併汚泥処理料金について審 議	3・10 山陽新幹線、岡山駅－博多駅 間開業 5・3 「一廃業者合理化特別措置法」 制定・実施	平成15年	2・ ディスポーザアンケート結果 報告（46社回答）	「浄化槽市市町村整備推進事業」開 始
昭和51年	10月組合ニース創刊	12・21 1 等1000万円のジャンボ宝く じ発売	平成16年	10・7 全国環整連第30回大会滋賀県 大津市で開催48名参加	10・23「新潟県中越地震」発生
昭和52年	10・19 臨時総会：水質検査所開設審 議⇒否決・合併浄化槽維持管 理受注始まる	4・6 大阪市営地下鉄谷町線の守口 駅－都島駅間が開通	平成17年	2・21「浄化槽管理技術講会」じば しん南大阪（堺市）にて開催、 (株)大阪府環境水質指導協会の 共催25名参加 合特法で吹田・高槻市と交渉 4・7 柿本三郎氏逝去 秋の叙勲 旭日双光章受章 藤野静男氏 藤野興業(株)会長	4・25 JR福知山線脱線事故が発生
昭和53年	資材の共同購入に組合補助開始	5・21 新東京国際空港（現成田国際 空港）開港	平成18年	2・3「生活排水適正処理推進大会」 スイスホテル南海大阪で開催	7・17 インドネシア・ジャワ島南西 沖でM7.7の地震が発生
昭和54年	府住宅供給公社の浄化槽清掃につ き組合にて一括受注	3・28 アメリカのスリーマイル島原 子力発電所で放射能漏れ事故	平成19年	1・2 百野辰雄氏逝去 11・5「小型合併浄化槽保守点検・ 清掃に関する講習会」の開催 参加者46名 11・6「コンパクト型浄化槽実務講 習会」の開催 参加者57名	7・16 新潟県中越沖地震（M6.8） が起きる
昭和55年	9、10、11 飲料水貯水槽清掃管理組 織化について集中審議	11・27 大阪市営地下鉄谷町線の天王 寺駅－八尾南駅間が開業	平成20年	11・19 理事会にて「全国環整連退会」 決定	7・7 日本が開催国となる第34回主 要国首脳会議（G8サミット） が北海道洞爺湖町で開催
昭和56年	単独浄化槽清掃一括受注上水道の受 水槽・高架水槽の一括受注		平成21年	3・31 全国環整連を退会 2・5 浄化槽シンポジウム開催和 泉シティプラザ弥生の風ホール 4・ 環境省エコアクション21取得 研修（21～25年度実施）実施	8・11 駿河湾地震（M6.5）が発生。 東海地震の前兆かと騒がれた
昭和57年	7、9、10、12 余剰汚泥海洋投棄の 集中審議	4・1 500円硬貨発行	平成22年	4・16 枚方市との行政協議開始 7・23 大阪地裁に調停の場を設ける 7・26 大阪地裁第10民事部調停不成 立 11・15 青年部K K R ホテルで開催 22名参加	6・13 小惑星探査機はやぶさ、地球 に帰還、大気圏再突入で燃え 尽きた。翌日、カプセルが回 収された
昭和58年	浄化槽管理技術者講習始まる 6、7、10 海洋投棄の審議	3・24 中国自動車道が全線開通 5・18 浄化槽法公布	平成23年	3・18 災害義援金の寄付	3・11 東日本大震災発生
昭和59年	5・21 第20期通常総会をホテル川久 （和歌山県）で開催 12・ 福利共済保険制度導入		平成24年	6・20 コンプライアンスと暴力団排 除条例に関する理事会研修会 秋の叙勲 黄綬褒章受章 丸岡慶治氏 (株)丸岡 代取役	2・29 高さ634mを誇り、自立式鉄 塔としては世界一となる東京 スカイツリーが日本で竣工
昭和60年	組合独自共済制度順調に推移 8・1（56社661名加入）	3・27「大阪府浄化槽保守点検業者 の登録に関する条例」制定 ⇒施行10・1 10・1「浄化槽法」施行「一廃業者 合理化特別措置法」が一部改 正される	平成25年	春の叙勲 旭日単光章受章 松藤一巳氏 松藤工業(株)社長 5・15 米田新理事長就任 3・31 エコアクション21取得研修終 了（20社取得）	2020年夏季オリンピック東京に決定
昭和61年	4・6 榎木米治郎氏逝去 浄化槽管理業務実務者講習会開催 （155名受講）	4・1 男女雇用機会均等法施行	平成26年	5・27 設立50周年記念式典開催： スイスホテル南海大阪130名 （来賓60組合員70）出席	
昭和62年	1・ 大規模単独浄化槽の特別清掃 受注	6・26「合併処理浄化槽設置整備事 業」厚生省創設 10・1「浄化槽の日」制定			
昭和63年	「事業部」を廃止し「広報部」を設置	3・13 青函トンネル開通			
昭和64年		1・7 天皇陛下崩御			
平成元年	新組合員名簿作成、組合ニュース編 集改定	4・1「消費税法」施行、3％			
平成 2 年	「浄化槽保守点検業」第 1 回目の登 録更新が始まる	4・1 大阪府で国際花と緑の博覧会 が開催			
平成 3 年	公社等飲料水貯水槽清掃一括受注	10・2「廃掃法」の一部改正 12・25 ソビエト連邦崩壊			